

前回からの修正点一覧表

指摘者	主な指摘内容	修正内容	ページ 番号
令和 5 年 12 月 27 日 玉名地域振興局	都市計画道路の「整備プログラム」という位置づけで策定するのであれば、整備にかかる期間について計画に盛り込む必要がある。	①整備優先度を「短期」と「中期」に分け、短期については「10 年以内に事業着手する路線」と定めた。	P9 P14
令和 6 年 1 月 29 日 ～ 令和 6 年 3 月 1 日  パブリック コメント	事業の優先度を「必要性」と「困難性」で評価していることはおかしいのではないかと。必要性がなければ路線は廃止されるし、困難性は個別に対策されることであって必要性と分けて評価するものではないのではないかと。 また、必要性の評価に、「市民ニーズ」という項目があるが、陳情による道路整備のように感じられ、都市計画道路の評価項目としてはふさわしくない。	②必要性と困難性による 2 軸評価を廃止し、必要性の項目を見直し「事業優先度の評価」として取り扱うこととした。	P5
		③事業優先度の評価における各項目のウエイト(加点)を見直し、1 項目 3 点、同一項目内で重要な条件を満たしている場合を 6 点とした。	P6 P7
		④評価項目より市民ニーズを削除した。	P7
		⑤困難性については、事業推進時の参考資料として取り扱うこととした。	P5 P8
		⑥以上のことを反映し、事業優先度の評価表を修正した。	P10
		⑦必要性と困難性の 2 軸評価を廃止した代わりに、各路線ごとの事業優先度評価内容の一覧表を追加した。	P15 P16
	有明海沿岸道路やグランドデザインなど聞きなれない言葉が使われている。	⑧最終ページに用語解説を加え、説明が必要になりそうな言葉について注釈を加えた。	P19

前回からの修正点 比較表

修正前

①整備優先度を「短期」と「中期」に分け、短期については「10 年以内に事業着手する路線」と定めた。

P12

4－3 プログラムの活用について

短期の事業については、整備効果が高く、早期に事業完了することが見込まれることから、効果を早期に発現されます。また、中・長期事業につきましても予算が単年度に集中しないよう、事業の中で履行可能なものから先行して整備を行ったり、整備期間を広めに設定するなどすることで、整備予算の分散化・平準化を図ることでき、効率的かつ効果的に整備を推進することができます。

これらの結果を踏まえ、市政や社会情勢、財政状況等を鑑みながら、本プログラムを基に担当部局と協議し、調整を図りながら事業化に向けた取り組みを進めて参ります。

P10

4－2 路線ごとの整備時期の設定

整備優先度の評価結果を踏まえ、優先度の高い路線から短期・中期・長期に整備時期の振り分けを行います。

短期	・玉名駅平嶋線 ・前田東線	・玉名駅下町線
中期	・築地中線 ・長洲岱明線	・築地大倉線（県道寺田岱明線） ・長洲玉名線（国道 501 号）
長期	・玉名バイパス線（国道 208 号） ・沖洲金山線	・岱明玉名線

修正後

①整備優先度を「短期」と「中期」に分け、短期については「10 年以内に事業着手する路線」と定めた。

P9

3－2－4 優先整備路線（整備時期の明確化）

「投資可能な道路整備費」を勘案して以下に記す通り整備時期を明確化し、本プログラム策定年度の次の年度を基準年度とし、着実に事業を推進します。

短期	10 年以内に事業着手する路線
中期 A	事業化の見込みが立った時点で事業着手する路線
中期 B	社会情勢の変化を勘案し、事業化を検討する路線

P14

（4）玉名市都市計画道路の整備優先度一覧表

整備優先度		都市計画道路名	
短期	10 年以内に事業着手する路線	3. 5. 8	玉名駅平嶋線
		3. 5. 5	前田東線
		3. 5. 9	玉名駅下町線
中期 A	事業化の見込みが立った時点で事業着手する路線	3. 4. 1	築地中線
		3. 4. 2	築地大倉線（県道）
中期 B	社会情勢の変化を勘案し、事業化を検討する路線	3. 4. 1 9	長洲岱明線
		3. 4. 7	沖洲金山線
		3. 2. 1 4	長洲玉名線【4 車線化】（国道）
		3. 3. 1 5	玉名バイパス線【4 車線化】（国道）
		3. 3. 1 6	岱明玉名線【4 車線化】

表－6 整備時期の基準

表－1 1 整備優先度の結果一覧表

前回からの修正点 比較表

修正前	修正後
<p>②必要性と困難性による2軸評価を廃止し、必要性の項目を見直し「事業優先度の評価」として取り扱うこととした。</p> <p>⑤困難性については、事業推進時の参考資料として取り扱うこととした。</p> <p>P3</p> <p>○プログラムの検討フロー</p>	<p>②必要性と困難性による2軸評価を廃止し、必要性の項目を見直し「事業優先度の評価」として取り扱うこととした。</p> <p>⑤困難性については、事業推進時の参考資料として取り扱うこととした。</p> <p>P5</p>

図-4 都市計画道路整備プログラムの検討フロー

前回からの修正点 比較表

修正前

③事業優先度の評価における各項目のウエイト（加点）を見直し、  
1 項目 3 点、同一項目内で重要な条件を満たしている場合を 6 点とした。

④評価項目より市民ニーズを削除した。

③ウエイト

P5

評価項目	評価の基準	内容	配点	
上位計画での位置づけ	県の上位計画	県を跨いだ地域や拠点間を 広域的に連絡する路線	熊本県新広域道路交通計画（令和3年6月）に位置づけられている 玉名都市計画区域マスタープラン（平成24年3月30日）に位置づけられている。 上記に該当しない路線	5 3 1
		市内のネットワークを構築する 主要幹線として位置づけられる路線	第2次玉名市総合計画後期計画（令和4年3月）に位置づけられている 玉名市都市計画マスタープラン（改定版）（令和5年3月）に位置づけられている。 上記に該当しない路線	5 3 1
	緊急輸送道路	災害時に市内への物資等の 搬入・搬出に資する路線	緊急輸送道路に位置づけられている路線 緊急輸送道路と二次的に接続する道路 上記に該当しない路線	5 3 1
		災害時の避難路	災害時の避難路としての活用が見込まれ、既存の代替路線がない路線 災害時の避難路としての活用が見込まれ、既存の代替路線の拡幅等が必要な路線 上記に該当しない路線	5 3 1
	自動車交通の円滑化	道路の新設や道路の拡幅など 市内の自動車交通を円滑にする路線	現況道路がない路線 現道若しくは平行路線で拡幅を要する道路 上記に該当しない路線	5 3 1
		地域生活の利便性	周辺に行政機関や医療・福祉施設、 学校等があり、生活利便性が向上する 路線 上記に該当しない路線	5 3 1
	公共交通の利便性	鉄道やバスなど公共交通の利便性が 向上する路線	バスまたは鉄道駅がある路線 バス停から半径300m以内または鉄道駅から半径500m以内の路線 上記に該当しない路線	5 3 1
		交通安全	歩行者の安全性や利便性が向上する 路線 既存集落に隣接し、歩行者の利用が見込まれる路線 上記に該当しない路線	5 3 1
	観光の振興	観光としてのアクセス性や市内の周遊性を 向上し、地域の活性化に資する路線	広域的な観光アクセスに寄与する路線 観光散策ルート上に位置する路線もしくは観光拠点等へアクセスする路線 上記に該当しない路線	5 3 1
		市民ニーズ	市民の要望が上がっているなど、事業化 に向けた地域の協力体制が見込まれる 路線 上記に該当しない路線	5 3 1
今後の主な取組での位置づけ	有明海沿岸道路	有明海沿岸道路(Ⅱ期)との一体的な 整備により、利便性が向上する路線	有明海沿岸道路に直接アクセスする路線 有明海沿岸道路に二次的にアクセスする路線 上記に該当しない路線	3 3 1
		玉名市まちなか 未来プロジェクト	玉名市の中心拠点の活性化・にぎわい のあるまちづくりについての基本構想に 資する路線 上記に該当しない路線	5 3 1
	立地適正化計画	コンパクトなまちづくりに対応して、 整備が必要な路線	立地適正化計画の都市機能誘導区域内に位置する路線 立地適正化計画の居住誘導区域内に位置する路線 上記に該当しない路線	5 3 1

④市民ニーズ

修正後

③事業優先度の評価における各項目のウエイト（加点）を見直し、  
1 項目 3 点、同一項目内で重要な条件を満たしている場合を 6 点とした。

④評価項目より市民ニーズを削除した。

③ウエイト

P7

分類	評価基準	評価項目	配点		
上位計画等での位置づけ	<広域連携軸>・広域幹線道路	県を跨いだ地域や拠点間を 連絡する広域連携軸を 形成している路線 【該当項目を複数選択】	熊本県新広域道路交通計画（令和3年6月）に位置づけられている 玉名都市計画区域マスタープラン（平成24年3月30日）に位置づけられている。 第2次玉名市総合計画後期計画（令和4年3月）に位置づけられている 玉名市都市計画マスタープラン（令和5年3月）に位置づけられている。 上記に該当しない路線	3 3 3 3 0	
		<街なか連携軸>・都市内幹線道路・まちなか幹線道路・生活幹線道路	都市内の地域や拠点間を 連絡するまちなか連携軸 を形成している路線 【該当項目を複数選択】	熊本県新広域道路交通計画（令和3年6月）に位置づけられている 玉名都市計画区域マスタープラン（平成24年3月30日）に位置づけられている。 第2次玉名市総合計画後期計画（令和4年3月）に位置づけられている 玉名市都市計画マスタープラン（令和5年3月）に位置づけられている。 上記に該当しない路線	3 3 3 3 0
	観光の振興	観光としてのアクセス性や市内の周遊性を向上し、地域の 活性化に資する路線 【該当項目を複数選択】	広域的な観光アクセスに寄与する路線 観光散策ルート上に位置する路線 もしくは観光拠点等へアクセスする路線 上記に該当しない路線	3 3 3 0	
		緊急輸送道路	災害時に市内への物資等の 搬入・搬出に資する 路線	緊急輸送道路に位置づけられている路線 緊急輸送道路と二次的に接続する道路 上記に該当しない路線	3 3 0
	自動車交通の円滑化	道路の新設や拡幅など市内の 自動車交通を円滑に し、交通の利便性や物流 が向上する路線	現況道路がない路線 現道若しくは並行路線で拡幅を要する道路 上記に該当しない路線	3 3 0	
		地域生活の利便性	周辺に行政機関や医療・福祉施設、 学校等があり、生活利便性が向上 する路線	主要施設（行政・医療・福祉・学校）に接続する路線 主要施設（行政・医療・福祉・学校）から 半径500m以内の路線 上記に該当しない路線	3 3 0
	公共交通の利便性	鉄道やバスなど公共交通の利便性が 向上する路線	バスまたは鉄道駅がある路線 バス停から半径300m以内または鉄道駅から半径500m以内の路線 上記に該当しない路線	3 3 0	
		交通安全	歩行者や自転車の安全性や 利便性が向上する路線	既存集落に隣接しているなど、歩行者の利用が見込まれる路線 上記に該当せず。歩行者の利用見込みが少ない路線 通学路として多くの学童が利用する路線	3 0 3
	今後の主な取組	有明海沿岸道路	有明海沿岸道路(Ⅱ期)との一体的な 整備により、利便性が向上する路線	有明海沿岸道路に直接アクセスする路線 有明海沿岸道路に二次的にアクセスする路線 上記に該当しない路線	3 3 0
		玉名市まちなか未来プロジェクト	玉名市の中心拠点の活性化・にぎわいのあるまちづくりについての基本構想に資する路線	まちなか未来プロジェクトにて早期に整備すると位置づけられている路線 まちなか未来プロジェクトにて中長期的に整備すると位置づけられる路線 上記に該当しない路線	3 3 0
立地適正化計画		コンパクトなまちづくりに対応して、整備が必要な路線	立地適正化計画の都市機能誘導区域内に位置する路線 立地適正化計画の居住誘導区域内に位置する路線 上記に該当しない路線	3 3 0	

④市民ニーズ  
→削除

④市民ニーズ

④市民ニーズ  
→削除

## 令和6年度 玉名市都市計画道路整備プログラム

## 前回からの修正点 比較表

## 修正前

⑥以上のことを反映し、事業優先度の評価表を修正した。

P8

【別表】 4-1 都市計画道路整備プログラムの評価結果  
(1) 事業の必要性に対する評価結果

[illegible]

※○：当該項目に合致する(加点) △：当該項目の内容に一部しか合致していない、もしくは現況で当該項目の機能を有しているため加点を行わない

8

## 修正後

⑥以上のことを反映し、事業優先度の評価表を修正した。

P10

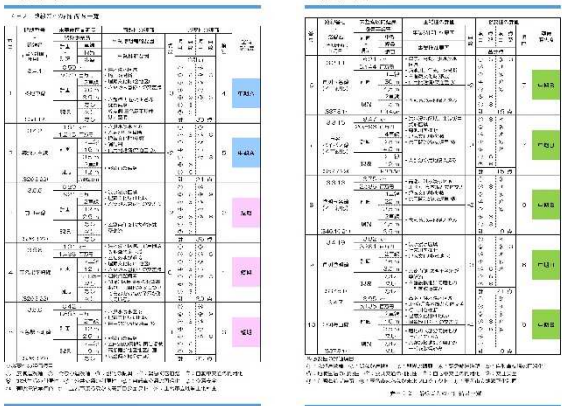
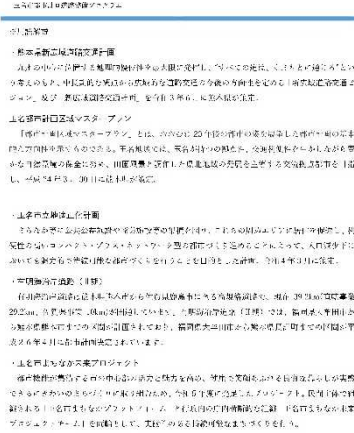
[illegible]

表-7 市街地開発法の罰則体系

100



前回からの修正点 比較表

修正前	修正後
<p>⑦必要性和困難性の 2 軸評価を廃止した代わりに、各路線ごとの事業優先度評価内容の一覧表を追加した。</p>	<p>⑦必要性和困難性の 2 軸評価を廃止した代わりに、各路線ごとの事業優先度評価内容の一覧表を追加した。</p>
<p>なし</p>	<div><div>P15,16</div><div></div></div>
<p>⑧最終ページに用語解説を加え、説明が必要になりそうな言葉について注釈を加えた。</p>	<p>⑧最終ページに用語解説を加え、説明が必要になりそうな言葉について注釈を加えた。</p>
<p>なし</p>	<div><div>P19</div><div></div></div>